

標十五句

松岡隆子選

空 蝉の眼のあたり濡れるたり
脱ぎしものみな裏返る暑さかな
ひと雨の上がりしあとの鱧料理
偲ぶ会とふ受付の花氷
しづかにも米寿たまはる天の川
投函のあとを古書肆へ夜の秋
長生きの顔を寄せ合ふ稲の花
備忘メモ壁にふやして日焼して
姫女苑人の言葉に揺れ易く
貸し傘は男傘なり薔薇の雨
涼新た山水折れて奔りけり
路地裏の男女に祇園囃子かな
無花果の樹下追憶の始まりぬ
はらからと相次ぐ別れつくつくし
凌霄や検査入院検査づめ

佐藤郭子
渡辺あつ子
峰岸よし子
松原ふみ子
鈴木綾
下平直子
別府優
染谷晴子
大祝えつこ
川上昌子
北村敦子
石崎章子
長束フミ子
早川紀子
石毛享子